

## 9 史資料調査

### [絵図]

仙台城下絵図については、阿刀田令造の先駆的な研究があり、その成果は「仙台城下絵図の研究」（斎藤報恩会 1936）にまとめられています。現在、県内の所蔵機関にある絵図は別表のとおり把握していますが、個別の調査や、県外の所蔵機関における調査は未着手であり、今後、資料は増加すると予想されます。

仙台城を描いた絵図は、城下絵図と修復窺絵図に大別されます。城内の建物を描いた絵図は数少なく、建物の指図については、現在のところ正面側面を描いた姿絵図があるだけです。

### [文献]

藩の公式記録は「治家記録」であり、その中に築城、災害による被災、修復などの記事が残されています。その他に、藩士の記録に、城での勤務のための覚書などがあります。主要な記事は、「仙台市史特別編7城館」（平成18年）にまとめられています。

城の修復に関する老中奉書は14通が現存しており、治家記録に2件分の内容が記されています。また、治家記録には3件分の修復窺の覚の内容が記されています。修復窺絵図の写は、5件分（11枚）が現存しており、書籍に所収されているものの所在不明の絵図が1点あります。まとめますと、18件の修復事例が確認されています。（平成30年5月23日現在）

廃城後の記録としては、「国立公文書館アジア歴史資料センター」から第二師団等に関する資料が公開されています。

### [古写真]

現在、仙台城を写した写真で最も古いとみられるものは、明治9年（1876）の明治天皇の東北巡幸の際に撮影されたといわれる大手門付近の写真であり、宮内庁が所蔵しています。大手門や大手門脇櫓の写真は絵葉書にもなっており数多く残されていますが、それ以外の遺構を写した写真は極端に少ない現状です。古写真は、仙台市博物館、仙台市歴史民俗資料館、東北大学史料館などに多く所蔵されています。

### [建造物の実測・移設建築物]

城内の建造物のうち、焼失及び破却前に実測が行われたものは、大手門、大手門脇櫓、巽門、中門の4か所です。

大手門と大手門脇櫓は、昭和5年（1930）に、当時、仙台高等工業学校教授であった小倉強によって実測が行われ、内部構造を含めた実測図が作製されています。

巽門は、小倉強により同時期に実測されていますが、外観のみ図化されています。大手門、大手門脇櫓、巽門の実測図は、「仙台城の建築」（仙台高等工業高校 昭和5年 [1930]）に掲載されています。

中門は、「仙台郷土研究」第2巻第4号（昭和7年 [1932]）に、1階と2階の平面図が掲載されています。

宮城野区岩切にある旧仙台城板倉（宮城県指定有形文化財）は、仙台城から移築されたと伝えられています。仙台城の御金蔵を移築したと伝えられ、二の丸勘定所の金倉に類するものと推測されています。昭和52年（1977）に東北大学工学部建築学科により実測が行われています。

表 3-2 仙名城跡関係絵図 (1)

1 幕府提出用城下絵図

番号	絵図名称	製作年 (西暦)	所蔵 (目録番号)	特徴
1	奥州仙名城絵図	正保2年 (1645)	仙台市博物館	いわゆる正保城絵図
2	奥州仙名城并城下絵図	天和2年 (1682)	宮城県図書館 (81)	

2 藩政用城下絵図

番号	絵図名称	製作年 (西暦)	所蔵	特徴
1	仙台下絵図	寛文4年 (1664)	宮城県図書館 (73)	本丸、二の丸の殿舎を立体的に描く
2	奥州仙名城絵図	正保3~寛文8年 (1646~1668)	宮城県図書館 (839)	
3	仙台下絵図	寛文8・9年 (1668・69)	第二高等学校旧蔵	文献記載、原本所在不明
4	仙台下絵図	寛文9年 (1669)	宮城県図書館 (74)	
5	仙台之城図	寛文年間?	大分県臼杵市 (702)	
6	仙台之城図	寛文年間?	大分県臼杵市 (703)	
7	仙台下絵図	延宝~天和 (1673~84)	仙台市歴史民俗資料館	
8	仙台下絵図	延宝6~8年 (1678~80)	宮城県図書館 (76)	
9	仙台下大絵図	延宝6~8年 (1678~80)	宮城県図書館 (77)	
10	仙台下大絵図	延宝6~8年 (1678~80)	宮城県図書館 (78)	
11	仙台下絵図	延宝6~8年 (1678~80)	宮城県図書館 (79)	
12	仙台御城下全図	延宝6~天和2年 (1678~82)	宮城県図書館 (80)	
13	仙台藩治絵図	延宝6~8年 (1678~80)	第二高等学校	文献記載、原本所在不明
14	仙台下絵図	延宝年間 (1673~81)	個人	
15	仙台下絵図	天和2年 (1682)	宮城県図書館 (75)	絵図の内容は延宝年間のもの
16	仙台下絵図	天和2年 (1682)	宮城県図書館 (82)	題箋「仙台中屋敷図」
17	仙台御城下御絵図	天和2年 (1682)	不明	文献記載、原本所在不明
18	仙台下五筆針絵図	元禄4・5年 (1691・92)	仙台市博物館	
19	仙台下絵図	元禄16~享保17年 (1703~32)	個人	文献記載、原本所在不明
20	享保年間仙台全図	享保9年 (1742)	宮城県図書館 (83)	
21	仙台下絵図	享保9年 (1742)	東北歴史博物館	
22	仙台下絵図写	享保11~19年 (1744~52)	仙台市博物館	
23	仙台下絵図	宝暦・明和年間 (1751~72)	仙台市博物館	
24	仙台地図	安永元~7年 (1772~78)	個人	文献記載、原本所在不明
25	仙台御城下絵図	安永元~7年 (1772~78)	個人	
26	仙台下絵図	安永元~7年 (1772~78)	仙台市博物館	
27	仙台下絵図	天明3~寛政元年 (1783~89)	個人	文献記載、原本所在不明
28	仙台下絵図	寛政元年 (1789)	仙台市博物館	
29	仙台下絵図	文化9~14年 (1812~17)	個人	文献記載、原本所在不明
30	仙台下絵図	文政3年 (1820)	個人	文献記載、原本所在不明
31	御城下町割図	天保4年 (1833)	宮城県図書館 (84)	
32	安政補正改革仙府絵図	安政2・3年 (1855・56)	第二師団司令部	文献記載、原本所在不明
33	仙台下略絵図	不詳	宮城県図書館 (85)	
34	仙台下絵図	江戸中期	仙台市博物館	
35	仙台下絵図	江戸中~後期	仙台市博物館	

3 修復竊絵図

番号	絵図名称	製作年 (西暦)	所蔵	特徴
1	仙名城修復竊絵図	寛文8年 (1668)	仙台市博物館	
2	仙名城修復竊絵図	元禄7年 (1694)	仙台市博物館	
3	仙名城普請奉還御絵図	元禄7年 (1694)	仙台市博物館	
4	仙名城修復竊絵図	宝永4年 (1707)	仙台市博物館	伊澤家コレクション
5	仙名城普請奉還御絵図	享保6年 (1721)	宮城県図書館 (850)	
6	仙名城修復竊絵図	享保6年 (1721)	仙台市博物館	
7	仙名城修復竊絵図	享保10年 (1725)	不明	文献記載、原本不明
8	仙名城修復竊絵図	享保13年 (1728)	仙台市博物館	
9	陸奥国仙名城普請竊	享保15年 (1730)	宮城県護国神社	
10	陸奥国仙名城当五月破損之所図	元文4年 (1739)	宮城県図書館 (849)	
11	仙名城修復竊絵図	元文4年 (1739)	仙台市博物館	
12	仙名城修復竊絵図	元文4年 (1739)	仙台市博物館	

4 藩政用城絵図 (全体)

番号	絵図名称	製作年 (西暦)	所蔵	特徴
1	仙名城絵図	不明	仙台市博物館	本丸・二の丸の殿舎を立体的に描写
2	仙名城絵図	寛文8~天和2年 (1668~1682)	個人	墨書きの方眼入り
3	青山公造制城郭木写之略図	不明	宮城県図書館 (840)	圧痕による方眼入り、貼り絵図
4	仙名城郭略図	不明	宮城県図書館 (841)	「木写之略図」の写し
5	奥州仙台城図	江戸時代中期~末期	国立国会図書館	日本古城絵図 東山道之部 (6) 197

表3-3 仙台城跡関係絵図(2)

## 5 藩政用城絵図(本丸)

番号	絵図名称	製作年(西暦)	所蔵	特徴
1	御本丸御殿略図	不明	宮城県図書館(842)	孔版本
2	御本丸御家作御絵図	明治元年(1868)	宮城県図書館(843)	袋書に「古絵図明治元年十月四條殿参謀江指出写置者也」
3	御本丸大広間地絵図	不明	(財)新藤報恩会旧蔵	所在不明
4	青葉城御本丸之図	不明	仙台市博物館	
5	仙台城旧御本丸御屋形図	明和4年(1767)	仙台市博物館	明治26年(1893)遠藤充信筆写
6	御本丸御屋形大略之図	不明	不明	文献記載、原本所在不明
7	仙台城旧本丸屋形図	不明	不明	文献記載、原本所在不明
8	御本丸千疊敷之図	不明	不明	文献記載、原本所在不明

## 6 藩政用城絵図(二の丸)

番号	絵図名称	製作年(西暦)	所蔵	特徴
1	御二之丸御指図	不明	宮城県図書館(844)	元禄期の改造以前の姿
2	享和二年之御家作御絵図写	享和2年(1802)	宮城県図書館(845)	文化元年(1806)火災以前の姿
3	文化元年御造営御絵図写	文化元年(1804)	宮城県図書館(846)	
4	仙台城二之丸御座敷絵図	不明	宮城県図書館(847)	
5	御二丸御城中並御中奥水抜溝御絵図	不明	不明	文献記載、原本所在不明
6	御二丸御家作水抜御絵図	不明	仙台市博物館	
7	勤政庁絵図	明治初年	宮城県図書館(848)	藩知事一家の部屋割りを付箋で貼付

## 7 藩政用城絵図(御修復帳)

番号	絵図名称	製作年(西暦)	所蔵	特徴
1	仙台藩封内神社仏閣等作事方役所修繕二属スル場所図	寛文~元禄年間(1661~1704)ころ	宮城県図書館(894)	
2	御修復帳	安永~天保年間(1772~1844)ころ	東北大学	
3	御修復帳	文化・文政年間(1804~30)ころ	宮城県図書館(893)	

## 8 藩政用城絵図(姿図)

番号	絵図名称	製作年(西暦)	所蔵	特徴
1	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	不明	仙台市博物館	千田家資料

## 9 その他絵図(儀式時の覚書など)

番号	絵図名称	製作年(西暦)	所蔵	特徴
1	御入部方絵図	天保13年(1842)	宮城県図書館(852)	
2	御座敷絵図	不明	宮城県図書館(884)	
3	御着城之節警備配置絵図	不明	宮城県図書館(番外1)	
4	御城中席絵図並口解	嘉永元年(1848)	石巻市	毛利コレクション
5	初鏡心之手綱	安政2年(1855)以降	仙台市博物館	
6	仙台城之図	安政4~文久2年(1857~62)	不明	文献記載、原本所在不明
7	仙台城内榎森御酒屋之図	不明	個人	文献記載、原本所在不明

## 10 絵画資料

番号	絵図名称	製作年(西暦)	所蔵	特徴
1	文久二年仙台下図屏風	文久2年(1862)	仙台市博物館	
2	慶応元年仙台下図屏風	慶応元年(1865)	仙台市博物館	
3	明治元年現状仙台城市之図	明治元年(1868)	仙台市博物館	
4	仙台領奥州街道絵図	江戸時代中期	仙台市博物館	
5	仙台青葉城中御座作眺望図巻	文化・文政年間(1804~30)ころ	仙台市博物館	
6	仙台年中行事絵巻	嘉永2年(1849)ころ	仙台市博物館	

## 11 近代以降の絵図

番号	絵図名称	製作年(西暦)	所蔵	特徴
1	宮城県下第一大区絵図	明治5~9年(1872~76)	仙台市博物館	
2	宮城郡仙臺町地引図	明治8年(1875)	宮城県公文書館	
3	青葉城、宮城郡松森村、根岸村、荒巻村等坪数調	明治9年(1876)	宮城県公文書館	
4	青葉城坪数調	明治9年(1876)	宮城県公文書館	
5	仙台城北方隣地図並青葉城測量図	明治9年(1876)	宮城県公文書館	
6	仙台城近傍之図	明治18年(1885)	国立公文書館	

表 3-4 修復窺

番号	年代		老中奉書			修復窺の覚		修復窺絵図				
	西暦	和暦	老中奉書(実物)	日付	治家記録に写し	日付	治家記録に写し	修復窺絵図(実物)	日付	名称	所蔵	目録番号等
1	1647	正保4	○	5月19日				○	10月4日	仙名城修理窺絵図	仙台市博物館	
2a	1668	寛文8										
2b	1673	寛文13	○	9月15日								
3	1681	天和元	○	11月21日								
4	1694	元禄7	○	11月29日				○	9月2日	仙名城修復窺絵図	仙台市博物館	齋藤報恩会目録A-III497
								○	11月16日	仙名城普請奉親御絵図	仙台市博物館	
5	1705	宝永2	○	10月28日					(未確認)	仙名城修復窺絵図	仙台市博物館	伊澤家コレクション
6	1707	宝永4	○	9月27日								
7	1710	宝永7	○	12月28日								
8	1711	正徳2	○	6月29日								
9	1716	正徳6	○	2月11日								
10	1717	享保2	○	9月28日								
11	1719	享保4										
12	1721	享保6						○	12月			
								○	11月【 】日	仙名城普請奉親御絵図	宮城県図書館	目録850
								○	11月5日	仙名城修復窺絵図	仙台市博物館	齋藤報恩会目録A-III401 市史城館P351
13	1723	享保8	○	4月28日								
14	1725	享保10	○	10月28日					10月21日	仙名城修復窺絵図	不明	『仙台城の建築』所収
15	1728	享保13	○	9月28日				○	9月15日	仙名城修復窺絵図	仙台市博物館	
16	1730	享保15	○	12月7日				○	11月18日	陸奥国仙台城普請窺	宮城県蔵国神社	市博図録「仙台城」P31
17	1736	元文元			(発給日のみ)							
								○	5月6日 5月12日			
18	1739	元文4						○	7月	陸奥国仙台城当五月破損之所図	宮城県図書館	目録849
								○	8月	仙名城修復窺絵図	仙台市博物館	市史城館P352
								○	7月	仙名城修復窺絵図	仙台市博物館	齋藤報恩会目録A-III458



図 3-62 奥州仙台城絵図 正保2年(1645) 仙台市博物館所蔵

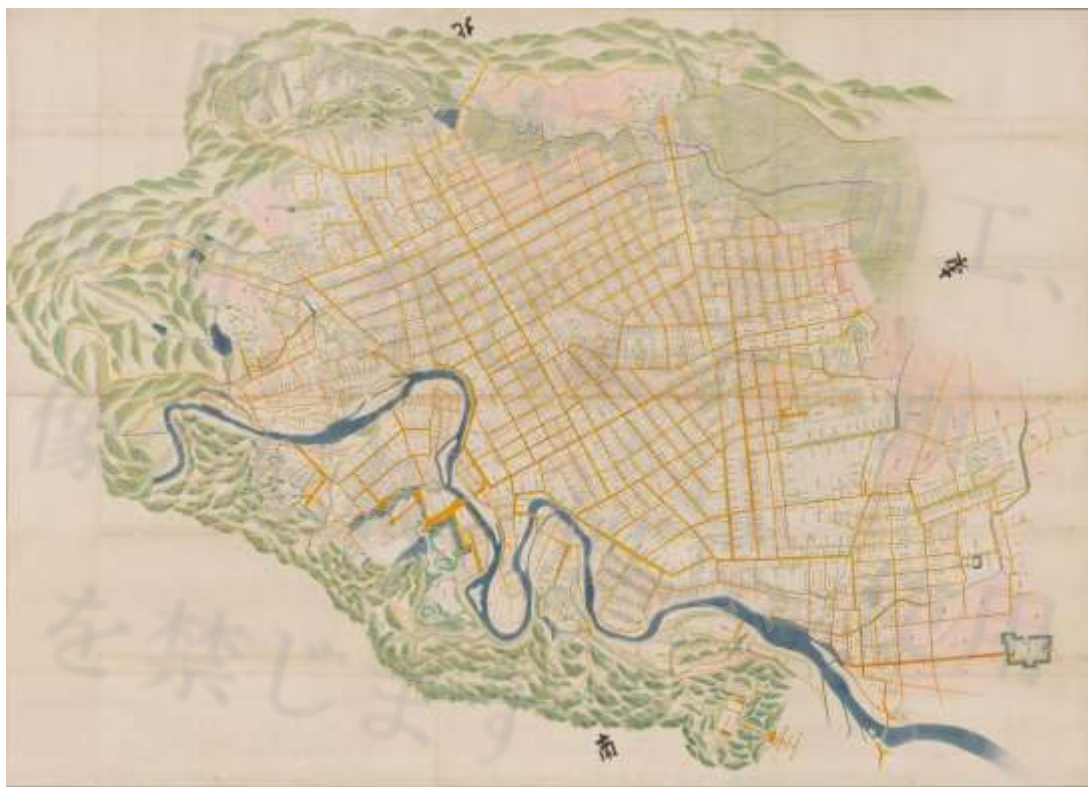


図 3-63 仙台城下絵図 寛政元年(1789) 仙台市博物館所蔵



図 3-64 仙台城修復伺絵図 元文 4 年（1739） 仙台市博物館所蔵



図 3-65 仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図 大広間部分  
江戸時代 仙台市博物館所蔵



図 3-66 大手門付近を写した古写真（明治初年）  
仙台市博物館所蔵



図 3-67 大手門・脇櫓の絵葉書（昭和6年以降）  
仙台市博物館所蔵



図 3-68 大手門正面を写した古写真  
「目で見える仙台の歴史」（1959）所収



図 3-69 大手門背面を写した古写真  
「目で見える仙台の歴史」（1959）所収

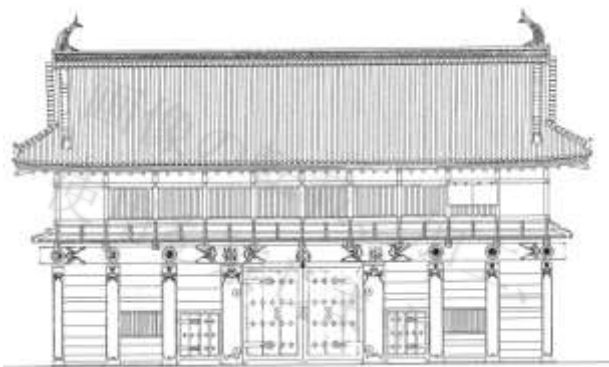


図 3-70 大手門測量図（正面）

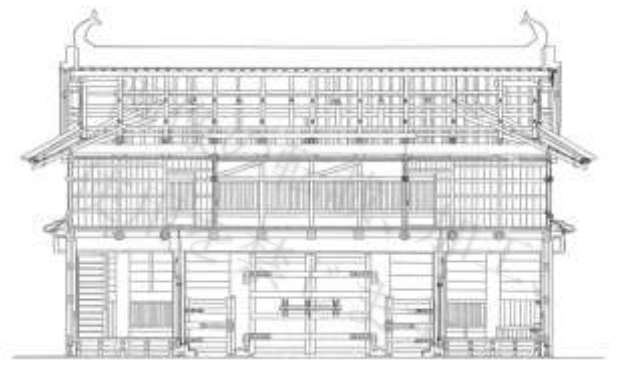


図 3-71 大手門測量図（内部）

※図 3-70・71：「仙名城の建築」（1930）所収の図を「仙台市史特別編7 城館」（2006）に転載

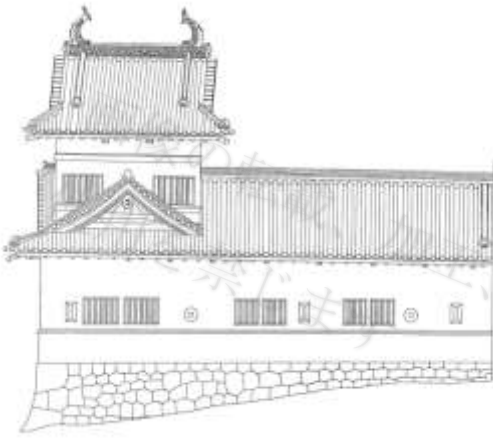


図 3-72 大手門脇櫓測量図（北面）

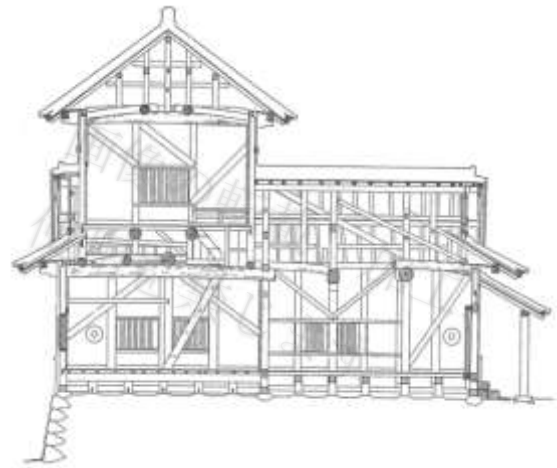


図 3-73 大手門脇櫓測量図（内部）

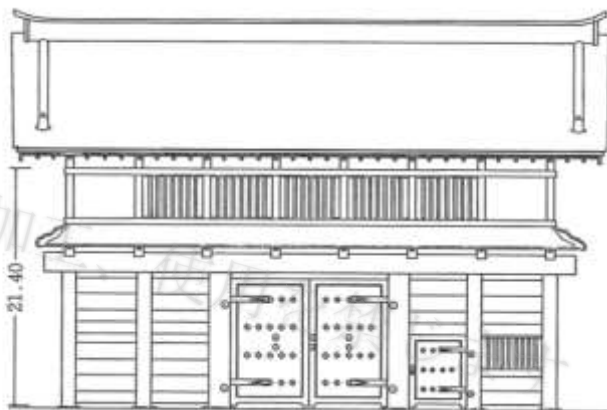


図 3-74 巽門測量図（側面・正面）

※図 3-72～74：「仙台城の建築」（1930）所収の図を「仙台市史特別編 7 城館」（2006）に転載

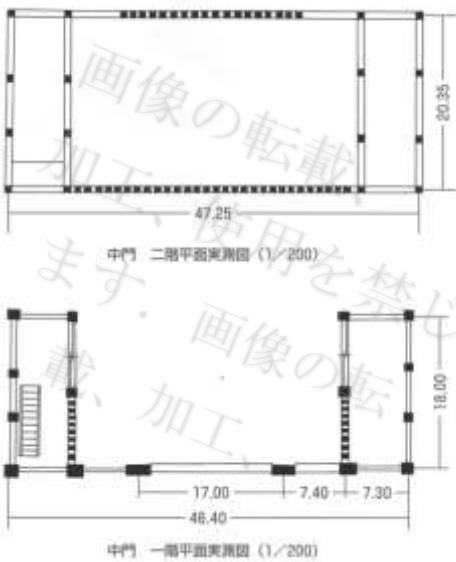


図 3-75 中門平面図

「仙台郷土研究」第2巻第4号（1932）

所収の図を「仙台市史特別編 7 城館」（2006）

に転載



図 3-76 岩切の板倉

仙台城内の蔵を移築したと伝わる



## 10 石垣の分布と変遷

城内の石垣については、平成15年(2003)に城内の遺構分布調査を実施し、位置と概ねの規模について把握しています。その後測量を行っていますが、平成30年度時点で測量は完了していません。

石垣は、使用される石材や積み方の違いにより、多様な様相が認められます。本丸北壁石垣の修復工事に伴う発掘調査により、概ねの技術的な変遷が想定されていますが、今後、個別の石垣の測量図の作成と詳細観察に基づく検討が必要です。

仙台城は慶長6年(1601)から普請が開始されますが、築城期の石垣は、解体工事に伴う調査で本丸北東部と本丸詰門付近で発見されています。野面石を、主に正面を横長に据え、布崩し積みもしくは乱積みで積むものです。本丸北東部の石垣は途中で段を設けており、勾配は47度～52度と比較的緩く、途中での勾配変化はありません。詰門付近の石垣は2段の検出で、勾配が75度です。同じく築城期と推定される石垣は、酉門付近や本丸北西石垣の一部に認められます。酉門付近では、鏡石といえるような配石が認められます。

元和2年(1616)の地震による被災後の修復石垣は、本丸東部で発見されています。野面石、割石を使用し、正面にノミ加工が施される築石もあるように、正面の平面性を意識しています。正面を横長に据えるとは限らず、控えを長く据えています。積み方は乱積みであり、目地には詰石が丁寧に配されます。勾配は57度～68度であり、途中での勾配変化はありません。この段階の石垣に様相が類似するものは、清水門石垣の基部付近、清水門北側石垣などに見られます。

寛文8年(1668)の地震による被災後の修復石垣は、本丸北壁石垣に代表されます。築石は、正面を四角く加工し、艦(とも)に向かって細くなる四角錐形の切石を使用し、布積みで積んでいます。角石は、直方体に加工された石材を算木積みし、角石の稜線は「江戸切り」と呼ばれる加工で強調しています。石垣の勾配は前段階のものと異なり、途中で変化します。全体的な傾向として、概ね下からある程度の高さまでは直線的な勾配であり、そこから天端にかけて勾配が急になるように徐々に変化します。勾配の傾向は大きく2つに分かれ、下部が61度～63度でそこから天端が76度～82度へと変化する部分(例:C面角部)と、下部が68・69度でそこから天端に向かい79・80度へと変化する部分(例:E面角部)があります。寛文8年地震による被災石垣の修復は、本丸北壁石垣の他、本丸北西石垣、酉門石垣、中門北石垣で行われた記録があり、地震前後の絵図の比較や、発掘調査の成果から、石垣の平面プランの変更を伴う修復であったことが分かっています。

寛文8年地震の被災石垣の修復以降は、被災箇所を元に戻す修復が行われており、石垣の平面形の変化を伴うような大きな改変はないとみられます。現在のところ、史料において新設の石垣とみられるのは、天和元年(1681)に修復が許可された、三の丸(東丸)西部土手下の土留石垣です。

石垣の修復は、近現代でも行われています。昭和7年(1932)から9年(1934)の間に、中門南石垣の修復、昭和14年(1939)から17年(1942)の間に本丸北西石垣の修復が行なわれたと推定されます。昭和52年(1977)には、中門北石垣の修復が行なわれています。また、地震による修復は、昭和39年(1964)の新潟地震により被災した清水門石垣、昭和53年(1978)の宮城県沖地震で被災した清水門石垣、子門石垣、平成15年(2003)の地震で被災した中門石垣、清水門石垣、平成23年(2011)の地震で被災した本丸北西石垣、酉門石垣、中門石垣、清水門石垣、大手門北側石垣で行われています。

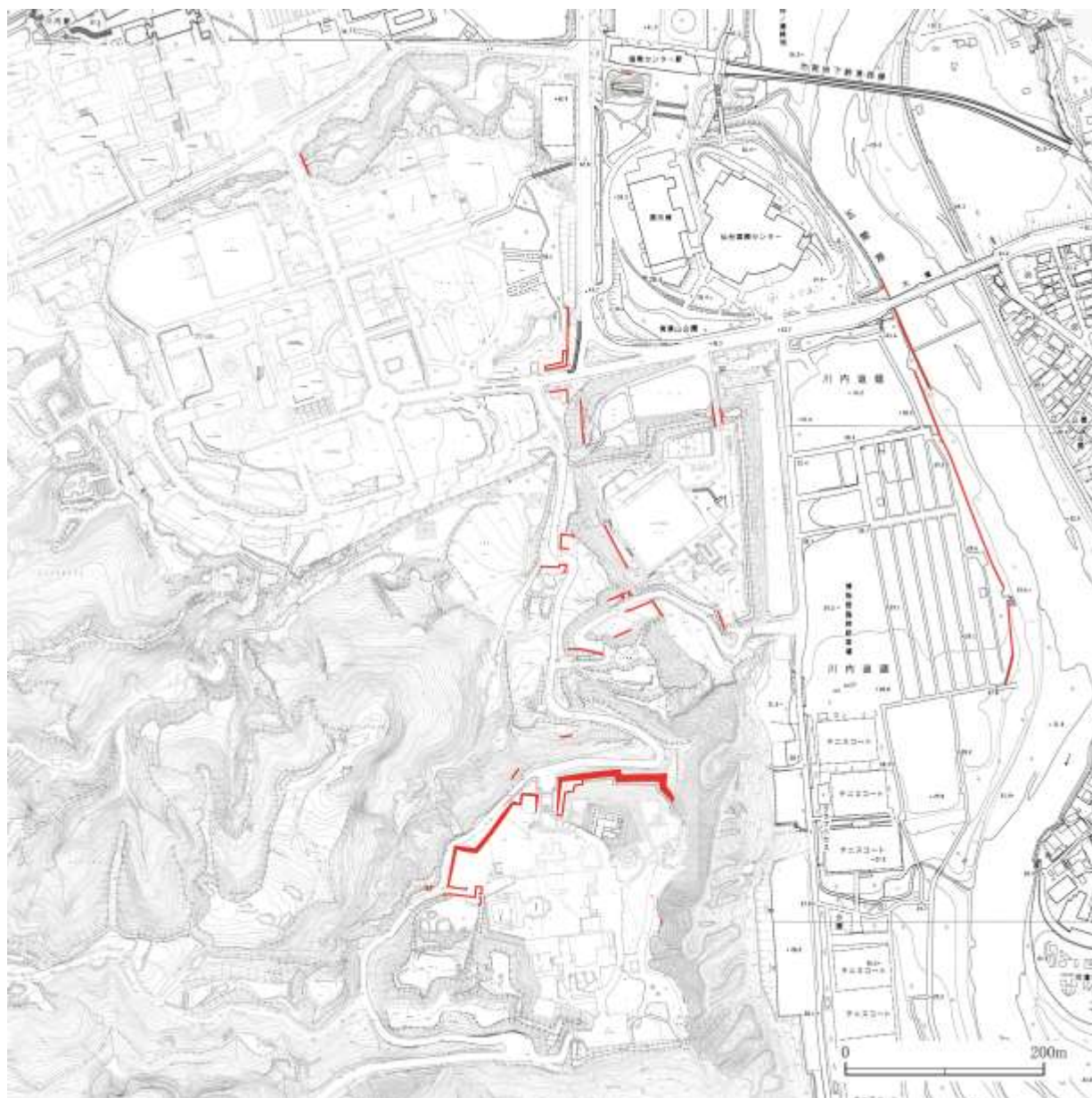


図 3-77 石垣の位置図



図 3-78 本丸北東部の築城期石垣



図 3-79 本丸北東部の築城期石垣（細部）



図 3-80 本丸北東部の築城期石垣  
47～52度の勾配



図 3-81 本丸北東部の築城期石垣  
途中に小段を有する



図 3-82 本丸詰門付近の築城期石垣



図 3-83 元和地震の修復石垣  
前面に寛文地震の修復石垣を築く



図 3-84 元和地震の修復石垣（細部）  
57～68度の勾配



図 3-85 本丸西門付近の石垣  
鏡石状の配石



図 3-86 本丸北西石垣基部



図 3-87 清水門石垣基部



図 3-88 清水門北側石垣



図 3-89 野面石・割石による隅角部  
(左から) 清水門・酉門・中門南・大手門北



図 3-90 寛文地震の修復石垣  
本丸北壁石垣



図 3-91 寛文地震の修復石垣(本丸北壁石垣)  
隅角部の算木積み



図 3-92 寛文地震の修復石垣(本丸北壁石垣)  
控えの長い築石



図 3-93 寛文地震の修復石垣(本丸北壁石垣)  
2種類の勾配  
左: C面角部 右: E面角部



図 3-94 三の丸西土手下の石垣  
天和元年（1681）許可か



図 3-95 本丸北西石垣 D 面  
複数の修復履歴が確認される



図 3-96 昭和 39 年（1964）新潟地震による  
清水門石垣の被災状況



図 3-97 昭和 53 年（1978）宮城県沖地震による  
清水門石垣の被災状況



図 3-98 平成 15 年（2003）地震による中門南石垣  
の被災状況



図 3-99 平成 23 年（2011）東日本大震災による  
本丸北西石垣の被災状況

## 11 自然的調査の成果

仙台市教育委員会は、平成元年（1989）に仙台城跡自然環境総合調査会（代表 加藤陸奥雄）に委託し、仙台城跡の自然環境の調査を行い、平成2年（1990）に報告書「仙台城址の自然」を刊行しました。調査内容は以下の通りです。

- 仙台城址およびその周辺地域の地質
- 仙台城址およびその周辺地域の植物
  - ・仙台城址およびその周辺地域の植物相
  - ・仙台城址及びその周辺地域の植物分布
  - ・仙台城址・東北大学植物園を中心とする地域の植物季節
  - ・仙台城址およびその周辺の植生
  - ・仙台城址およびその周辺地域の地形と植生の立地
  - ・東北大学理学部附属植物園内樹木の樹齢
  - ・東北大学理学部附属植物園のモミ林の動態
  - ・仙台城址及びその周辺地域の植物調査の概要
- 仙台城址およびその周辺地域の動物
  - ・仙台城址・青葉山地域の哺乳類
  - ・仙台城址・青葉山地域の小型哺乳類
  - ・仙台城址・青葉山地域の小動物
  - ・仙台城址・青葉山地域の魚類
  - ・仙台城址およびその周辺地域の鳥類
  - ・仙台市青葉山における鳥散布植物の出現
  - ・仙台城址およびその周辺地域の昆虫類

この調査で確認された動植物の主なものについては、本書第2章第1節5（仙台城跡周辺の動植物について）に記載しています。

その他には、本丸東側崖地の崩落防止工事の工法検討の際、崖地を中心とした範囲の植生調査を行うなど、整備事業の設計にあたり、事業対象範囲の植生調査等を実施しています。

## 12 社会的調査の成果

### (1) 来訪者の状況

#### ①本丸跡来訪者数

本丸跡の来訪者については、宮城県護国神社本丸会館駐車場の利用者数（宮城県護国神社調べ）と、循環観光バス「るーぷる仙台」の「仙台城跡」停留所降車数を合計した数字の概数としています。

平成28年度	約574,000人
平成27年度	約531,000人
平成26年度	約464,000人

なお、市ホームページで公開している資料では、平成28年度の市全体の観光客入込数は、22,146,806人であり、外国人の宿泊者数は128,450人です。また、仙名城跡・瑞鳳殿・仙台市博物館を合わせた来訪者数は946,214人です。

## ②仙名城見聞館入館者数

仙名城見聞館は無料の施設であるため、入場券の販売による人数の把握はできませんが、管理人による入館者数の確認を行っており、利用実態に近い数字とみています。

平成28年度 125,740人

平成27年度 132,441人

平成26年度 106,974人（2/19～3/26休館）

平成18年3月の開館以来、平成29年11月30日までの総入館者数は、1,196,777人であり、1日あたりの入館者数は280人です。

## ③仙台市博物館入館者数

平成28年度 161,006人（1～3月休館）

平成27年度 189,824人

平成26年度 164,955人

平成29年は、伊達政宗生誕450年にちなんだ特別展を開催し、期間中（10月7日～11月27日）の入館者数は42,525人です。

## (2) 来訪者の状況 [観光客動態調査]

### ①調査について

平成27年度に仙台市を訪れる観光客の動態調査が実施されました。調査方法は、WEBアンケートと、交流地点によるアンケートです。結果は、「平成27年度仙台市観光客動態調査報告書」にまとめられており、市ホームページでも公開しています。内容の一部を引用します。

WEBアンケート 平成27年9月11日～9月17日 有効回答数4,000件

交流地点におけるアンケート 平成27年9月23日、26日、27日、28日、30日

11月18日、20日、22日、25日、29日

有効回答数1,602件

※交流地点：仙台駅、高速バス乗り場、仙台空港、高速道路菅生PA、仙名城跡、松島

### ②WEBアンケートの主な結果

ア 仙台市と聞いて思い浮かぶ場所・モノ・コト

牛タン45.9%、伊達政宗23.8%、仙名城跡22.1%、七夕16.4%、笹かまぼこ8.8%

イ 来訪経験

仙名城跡42.4%、秋保温泉27.4%、仙台七夕まつり26.8%、国分町25.6%

ウ 訪れて良かったところ

- 仙台城跡 36.4%、秋保温泉 25.2%、仙台七夕まつり 20.0%
- エ 再訪時に行ってみたいところ  
秋保温泉 31.8%、仙台七夕まつり 25.8%、作並温泉 23.8%、ニッカウキスキー宮城峡蒸留所 20.4%、仙台城跡 20.3%、仙台うみの杜水族館 20.0%
- オ 来訪経験のない方が想定する来訪目的  
歴史・文化観光 53.4%、自然・景観観光 51.0%、本格グルメ 48.9%

### ③交流地点におけるアンケートの主な結果

- ア 来訪のきっかけ  
歴史・文化観光 26.5%、自然・景観観光 23.5%、ビジネス 19.1%  
男女別では、男性はビジネスが最多で 29.3%、女性は歴史・文化観光が最多で 30.1%
- イ 訪問場所  
仙台城跡 37.3%、国分町 15.0%、秋保温泉 12.8%、定禅寺通り 11.7%、  
瑞鳳殿 10.2%、三井アウトレットパーク 7.4%、仙台うみの杜水族館 6.8%
- ウ 訪れて良かったところ  
仙台城跡 18.5%、秋保温泉 7.4%、国分町 6.4%、定禅寺通り 5.4%

### ④仙台観光の現状分析

- A. 仙台市に対しては、歴史ある古都というイメージに加え、牛タンを代表としたその土地ならではの食を楽しめる場所であるというイメージが定着している。  
しかしながら一方で、同じように古都としてイメージが定着している「金沢」や、食のイメージが強い「札幌」などと比べると、仙台市は飛び抜けて特徴的なイメージがないことが分かる。
- B. 仙台市の人口規模に対する観光入込客数は多いものの、その多くは日帰り客であることが分かる。
- C. 仙台市は東北のビジネス拠点であり、交流地点調査でも明らかになっているとおり、観光地における来訪者の来訪目的でも約2割がビジネス目的である。このことは、前述の日帰り客数が多いことにも表れているといえる。ビジネス目的での来訪者が多いことは仙台市にとって大きな強みでもあり、一方では弱みになっている。

### ⑤仙台観光の課題

- A. 仙台市の観光における最大の課題は「観光都市」としてどこにポイントを置くかということである。現状においては、他の地域から「観光都市」としては見られておらず、宮城県及び近隣県からのショッピングの場所、あるいは東北におけるビジネスの拠点というイメージが強すぎるため、仙台市と観光の結びつきが非常に弱い状況である。
- B. 仙台市は全てにおいて平均的であり、そのことがイメージの打ち出しとしてマイナスに働いているものとする。例えば仙台市の観光地で最も認知度が高く訪問意向も高い「仙台城跡」でさえも Web 調査による認知度が 60.1%と決して高い数値とは言えず、その他の観光資源に至っては観光を誘致できるほどの認知率に至っていない。
- C. 観光客が魅力を感じるコンテンツ、観光地としてどのようなベネフィットを旅行者に提



供できるのかといった、観光地としてのポジショニングが不明瞭であることが大きな課題であると考えます。

(※コンテンツ：中身、内容 ベネフィット：利益、恩恵 ポジショニング：位置づけ)

### (3) 仙台城跡周辺の交通機関の利用状況

#### ①地下鉄東西線

地下鉄東西線は、仙台市街地と周辺を東西に結ぶ路線で、平成27年12月6日に開業しました。仙台城跡に近い駅は国際センター駅であり、平成27・28年度の乗車数は以下の通りです。

平成27年度 296,332人(1日平均2,533人) ※117日間

平成28年度 1,095,203人(1日平均3,001人)

国際センター駅は、国際センター、東北大学に隣接しているため、大学やイベント利用者の乗降も多い駅です。

#### ②市道の交通量

東北工業大学工学部建設システム工学科環境測量研究室では、青葉山周辺地区の自然環境保全のための取組みの中で、昭和62年(1987)から市道の交通量調査を行っています。そのうち、平成18・19年の調査成果を下記に引用します。

場所		平成18年9月14日	平成19年9月26日
青葉山公園前交差点 (大手門脇櫓前)	本丸方面から	5,156台	5,558台
	本丸方面へ	4,600台	4,777台
		計9,756台	計10,335台
	観光バス	51台	45台
御裏林前交差点(本丸 切通の三叉路)	東北大学方面から	1,708台	2,007台
	東北大学方面へ	2,352台	2,514台
		計4,060台	計4,521台
	観光バス	47台	31台

調査では、大型車、普通車、小型貨物車、二輪車(バイク)に分けて調査しています。

また、仙台市が行った交差点の交通量調査のうち、史跡指定地に近接する東北大グラウンド前交差点(国際センター駅西側)で調査が行なわれています。平成29年度は、9月27日(水)7:00~19:00(12時間)に調査が行なわれています。大学側から(西から)交差点へ進入する交通量は1,305台です。(詳細は仙台市ホームページに掲載しています。ホームページアドレスは<http://www.city.sendai.jp/kotsu-kekaku/kurashi/machi/kotsu/data/kosaten.html>)

過年度の調査結果との比較

平成20年度 2,390台

平成25年度 3,143台(市道仙台城跡線が通行止めのため、迂回車両が通過)

平成29年度 1,305台(地下鉄東西線開業後)

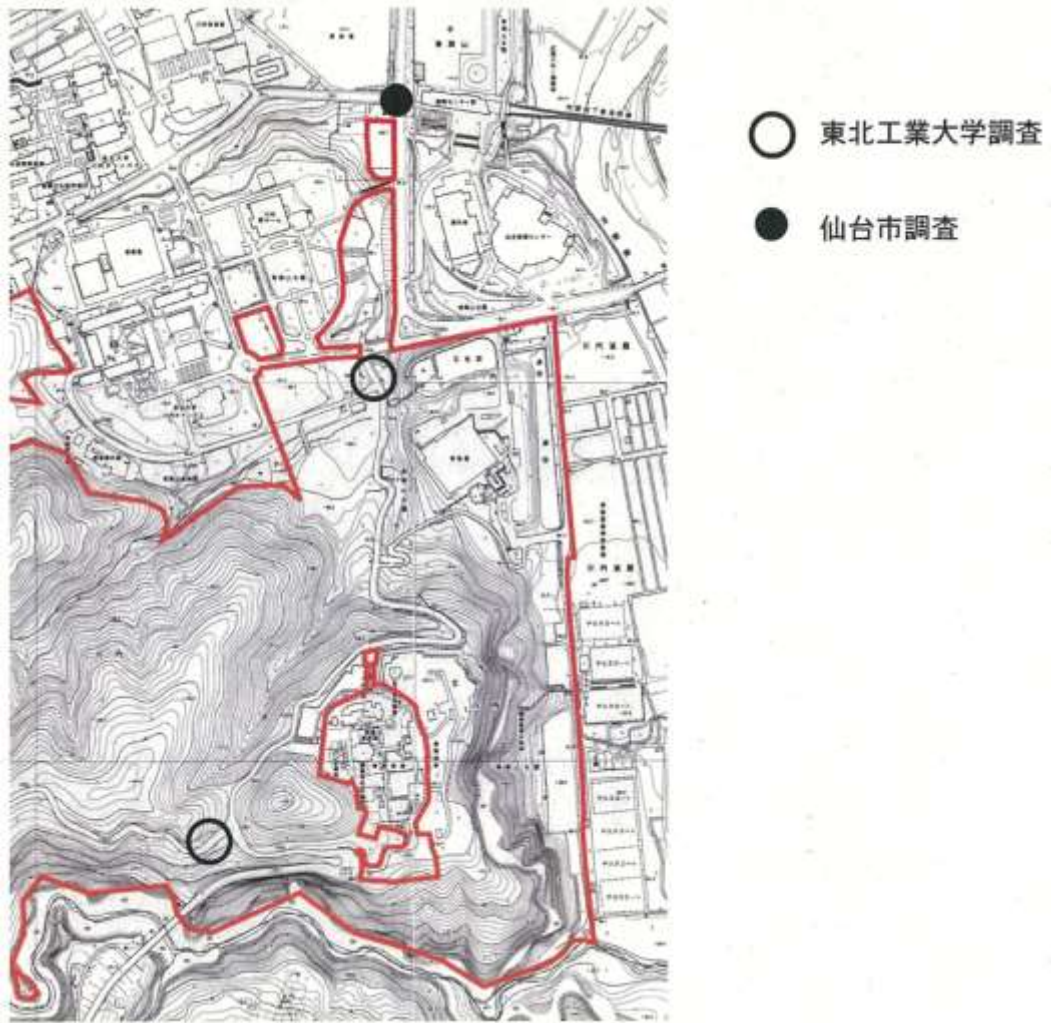


図 3-100 交通量調査の位置図